

2019年度 第2期

NIGIWAI LABO

継続手続きのご案内

2018年度 第1期 NIGIWAI LABO にご参画いただき、誠にありがとうございます。いよいよ6月1日より第2期がスタートいたします。継続手続きのご検討をぜひ宜しくお願いいたします。

第2期のご案内

テーマは「覚醒する体験価値」



株式会社賑わい創研
代表取締役社長 **松本 大地**

2019年度におけるNIGIWAI LABOのテーマを「覚醒する体験価値」としました。「モノ」から「コト」へと言われますが、モノへの欲求や消費が終わるわけではなく、モノが実現してくれるコトの豊かさや満足度で商品やサービスを選ぶようになりました。さらにプラスして「トキ」をどう過ごすかといった要素も入り、消費の質が大きく変わってきました。モノ、コト、トキ、それぞれの体験価値と複層した体験価値があります。北陸のホームセンターでは、トラクターの試乗や鋸の試し切りができる売り場づくりでモノ体験価値を上げ、音楽・映像産業ではコンサートやフェスといったコト体験価値によるライブマーケットが年々規模を拡大しています。フィットネスクラブ市場規模が過去最高を更新しているのも、健康なライフスタイルを続けたいというコト体験価値からです。また、ホテルでは単なる泊まる目的ではなく、そこでの宿泊経験から得られる感動や満足感のトキ体験価値を求めるようになりました。世界一周クルーズの豪華客船飛鳥IIも、トキの体験価値が大きな目的ではないでしょうか。辺境の地にあるスペインのサン・セバスチャンには、世界中からバルの美食体験に訪れます。ここしかないピンチョスのモノ、バル巡りをするコト、賑わい中に身を委ねて楽しい時間を過ごすトキ、この複層した体験価値が大きな魅力になっています。

これからの消費活動には、商品の必要性もさることながら、現場での発見や感動、購入後のイメージづくりが欠かせません。ネット通販とは価格で戦うことは難しいですが、体験価値を高めて顧客経験を磨き上げ、リアルメリットを強めての差別化は可能です。

覚醒とは、目を覚ます、目が醒めること。今年度の新元号時代に相応しい「覚醒する体験価値」を探求する多彩な講師によるカリキュラムを実現致します。また、テーマに沿った賑わいサミットや海外視察研修も引き続き継続してまいります。

ぜひとも第2期NIGIWAI LABOへのご参画をお願いすると共に、変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

第2期 講師予定

6月5日(水) 第8回 NIGIWAI LABO

日本中に食体験の豊かさをつくり続ける

株式会社バルニバービ代表取締役社長 **佐藤 裕久氏**

日程未定

- レストランバスク オーナーシェフ 深谷 宏治氏
函館バル街を主宰するスペイン料理界の第一人者
- 日本経済新聞社 白鳥 和生氏
体験価値消費の事例や可能性を定量・定性的に分析
- 沼津市 白井 久人氏
公民連携で公園の中にユニークな宿泊体験施設
INN THE PARKをプロデュース

第2期 会員メニュー

1 セミナー

年7回の定期セミナー
(会員団体から2名様まで無料受講)



定期セミナー第1回 スノーピーク代表取締役社長 山井 太氏

2 情報発信・情報交流

季刊誌・ホームページでの情報提供

- ・季刊誌「NL」の発行(年4回)
- ・ホームページでの情報提供
- ・懇親会などの会員交流(懇親会の飲食費は年会費に含まれておりません)



季刊誌「NL」第3号

3 視察研修のご案内

国内外の先端事例視察

- ・海外視察
- ・国内視察 (国内外ともに、松本大地 企画&同行視察)
(視察研修への参加費用は年会費に含まれておりません)

海外視察 第1期は5月24日～5月31日に実施します。

4 賑わいサミット

第1期 賑わいサミットは、テーマ「REBORN」を掲げて滋賀県大津市にて開催、国内視察研修も兼ねた一泊二日で会員様同士の親交も深まりました。

第2期も注目のキーマンに集まっていたいただき、シンポジウムを中心に賑わう交流会を開催します。

(松本 大地 企画&登壇)

(参加費用は年会費に含まれておりません)



賑わいサミット第1期 第1部シンポジウム

NIGIWA LABO

第2期 継続のお手続きについて

●会費:年会費 10万円(消費税別)

4月中に、事務局より、手続きに関してのご連絡をさしあげます。

お問い合わせ先

株式会社賑わい創研 NIGIWA LABO事務局

担当:石川 孝 TEL:080-3701-9216 FAX:03-3556-7630

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号 飯田橋グラン・ブルーム28F




賑わい創研